

「働くときの知識高校生版」を用いた授業 指導略案

実施校：東京都立 H 高等学校

実施日時：2013 年 2 月 17 日（月）

対象：1 年次生（6 クラス）

実施授業：産業社会と人間 45 分×2 校時

- 目標：①労働者をまもるためにワークルール（労働法）が存在することを理解する
 ②働く上での最低限の知識を得る
 ③もしも不当な扱いを受けた場合、どこに相談すればよいのかを考える

授業展開	内容
導入	ワークシートの例を見てワークルール違反を考えさせる。 生徒を数名指名して、考えを発表させる。 指導者が答えを発表し、板書する。 ワークルールを学ぶ意味を伝え、本時の授業を展望させる。
展開①	ロールプレイを行う。（教員と教員、教員と生徒など） ロールプレイを見て、どの部分が違法なのかを個人で考える。 学習班に分かれて、違法な部分をグループで話し合う。 班ごとに発表を行う。
展開②	「働くときに知識」を配布して、ルール違反の項目を確かめる。 分かった生徒に挙手をさせて、違反項目を確認する。
展開③	冊子を使い、不当な扱いを受けた場合や相談できる機関を確かめる。
まとめ	本時の学習内容を確認し、授業の締めくくりを行う。 ワークシートに本時のまとめを記入させる。